



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

# THE Y'S MEN'S CLUB OF K O B E

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
- 国際会長主題：世を照らす光となろう - 恵みを愛もて分かち合おう
- アジア会長主題：歳月はY'sをワイズ（賢者）にする - 行動が活力を呼び覚ます
- 西日本区理事主題：先頭に立ってワイズの光を輝かそう、クラブで、地域で、国際社会で
- 六甲部部長主題：柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう
- クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、クラブの新しい「顔」を作るべく、それぞれの役割を楽しもう

## 2012年11月

## Public Relations Wellness 強調月間

～ 今月の聖句 ～

「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを、思い出しなさい。彼らの終わりをしっかり見て、その信仰を見倣いなさい。」

ヘブライ人への手紙13章7節

### 11月第1例会

11月3日(土)  
第15回神戸YMCAチャリティラン  
場所：しあわせの村  
時：8時半集合  
プログラム：  
ホットドッグ 販売

11月誕生日おめでとう

11月生まれの方はいらっしゃいません。

10月在籍者	10月出席者	10月出席率
19名	メン 13名	68%
広義会員	メネット 11名	(含メイヤップ)
0名	コメット 0名	前月出席率
合計 19名	ゲスト 0名	68%
	合計 24名	

### 10月分BFポイント

切手	0円	現金	0円
本年度累計			
切手	0円	現金	0円

11月20日(火)第2例会 19:00～  
12月クリスマス例会の詳細について  
その他、協議事項、事務連絡など

第2例会でも、重要な議題を協議し決めてゆきます。都合をつけて出席をお願いします。

会長 進藤啓介

副会長 尾上尚司

会計 森 章一

書記 山本亮司

連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No.1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴

例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

## 会長メッセージ 『今思うこと』

会長 進藤 啓介

先月は、神戸クラブの未来に向けて、今年のクリスマス例会において「ゲストを沢山呼びしてクラブメンバーを拡大するきっかけにしよう」といったお話をさせていただきました。その後、9月のジャガイモファンド、10月のYMCA国際バザー、11月のチャリティランといったクラブやYMCAの大きなイベントをユースと又、YMCAの主事たちと楽しく過ごしたわけですが、その余韻の中で、ふと、思うことがありました。「一度、今この時にユースやYMCAの主事達とじっくり話がしてみたい」。これは前々から思っていたことですが、あらためて今、主事の仕事について、ワイズに求めるもの、またユースの悩みや喜び希望について話を聞くことも大事なのではないかと思います。お互いが、お互いを改めて見

ること、見直し理解することで、お互いの生かし方、又生かされ方も解り、ワイズのメンバーのYMCAへの関わり方、YMCAのワイズへの関わり方も改めて見えてくるのではないのでしょうか。私はまだ3年のお付き合いしかない身ですが、それだけに私なりに違った目で見ること、ワイズがこれからYMCAの為に、また地域に向けて、国際に向けて出来ることが新しく発見出来るように思います。

こうした活動の中から、YMCAをもっと理解し、私の足元を固め私の仕事を見つけないかと思えます。クラブとしても、この地域で、YMCAを通じて何が出来るのか、何をしなければならないのか、早く探し出して今後のクラブの指針になればと思えます。

### ジャガイモファンド報告

▽皆様。ジャガイモ、ちりめん山椒のファンドにご協力ありがとうございました。今期のジャガイモは、445箱を完売、事業目標より10%増になりました。

今後、リンゴファンド、山椒ちりめんもあり、神戸クラブのファンドとしては形が整ってきたように思います。今後とも皆様のご協力よろしくお願いします。

ファンド委員 長内健祐

### 三宮YMCA国際協力バザー報告

10月21日(日)に神戸YMCA国際協力バザー開かれました。塚本潤一バザー委員長報告では、1,051名の入場者を迎えとのことでした。神戸クラブは例年通りのみの市で協力。30万円に、若干届かなかったものの国際協力に貢献することが出来ました。

土曜日の準備、日曜日のバザー当日を合わせ、8名のメン、11名のメネットが参加しました。

### クラブからのお知らせ

▽森直前六甲部長へのエルマークロウ賞の伝達が瀬戸山陰部会にて執り行われました。六甲部メンバーとして、森メンの受賞を慶びたいと思えます。

▽国際協会議案投票結果について

2010-2011年度の国際会長、藤井寛敏ワイズが、国際議員を21名から15名に削減し、機構運営経費の削減を寄与するとともに、ユース議席を2つ確保し、ユース会員の声を国際に反映させようという機構改革を提案していました。この国際協会の機構改革案が、全世界の各クラブ会長による投票の結果、可決されました。総投票数826、賛成556、反対265でした。

東日本区の投票率が97%、西日本区が87.8%でした。目標としていた100%には至りませんでしたが、日本の投票が大きな役割をはたしました。

▽今後の予定。

11月11日 世界YMCA、YWCA合同祈祷週

12月11日 クリスマス例会

1月12日 新春YYフォーラム

### <今月の聖句に添えて>

11月には毎年教会では天に召された人々のことを思い起こし、祈念礼拝や集会が行われる。最近、私たちの親しい仲間二人をイエス様はご自分の元にお召しになった。今西正弘さん（宝塚）、石坂哲郎さん（ポート）、神戸クラブ時代からの良き友、忘れがたいお二人であり、クリスチャンとして生涯を生きられた方であった。

（山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム）

## 瀬戸山陰部会参加報告

鵜丹谷 剛

去る10月8日に開催された瀬戸山陰部会に、神戸クラブより進藤会長を始め、井出メン・メネット、大塚メン・メネット、長内メン、城メン・メネット、長沢メネット、名田メネットと鵜丹谷の総勢11名が参加しました。前日7日に開催の米子クラブとのDBC交流会と併せてとの米子訪問となりました。

今回の瀬戸山陰部会は、ホストクラブである米子クラブの本拠地である米子YMCAで開催されました。初めて訪れる米子YMCAは、米子城跡近く、中海（宍道湖に隣接する汽水湖）に面したロケーションにあり、その一帯の風光明媚さ、そして、何より御年87歳を迎えられる米子クラブの加藤俊行ワイズご自身が、会場誘導に立たれている姿に大半感動を覚えました。

午前中は各事業委員会での分科会に始まり、同施設内のYMCA米子医療福祉専門学校の見学、そして、全体部会の始まり。各種式辞・報告を経て、乗本業文氏による記念講演を拝聴しました。氏による福島原発問題に関する実態話は、色々と考えさせられる事が多かったです。一部の最後として、地元『若あゆ連』子供たちによる"米子がいな太鼓"のアトラクションを拝見し、玄関ロビー前で奏でる太鼓の音色、演者メンバーの雄雄しい演舞に近隣住民も何事かと誘われ



見学する姿が、地元密着のYMCAらしさを感じさせました。

その後に開催の懇親会の途中で、遠路の為、我々神戸クラブメンバーは退座させていただきました。米子クラブのメンバー方に駐車場まで見送っていただき、そのほのぼのとした人情の温かさに感銘を覚えながら、夕暮れ迫る中海を背に帰路につきました。一泊二日の大変有意義な旅でした。米子クラブの福永瀬戸山陰部部长始め、米子クラブ皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

## 米子クラブとの交流事業報告

交流事業委員 城 純一

2011年11月にDBC締結して初めて、神戸クラブから15名のメンメネットが米子クラブとの交流会に出席し交流を深めましたが、2012年は米子クラブの福永君二ワイズが瀬戸山陰部部长になりまた米子クラブ15周年記念会を10月8日に開催するとの事なので神戸から11名が前日の7日に米子へ赴き神戸クラブの10月第一例会をかねて米子クラブとの交流会を実施して頂きました。

参加者は、進藤会長、鵜丹谷前会長、大塚夫妻、長内さん、井出夫妻、城夫妻、長沢、名田メネットの11名でした。

成瀬西日本区理事始め書記、理事事務局の方々また神戸学園都市クラブの藤井久子ワイズ、神戸ポートクラブの大野ワイズも参加され盛大に交流会を持つ事が出来て感激でした。8日の瀬戸山陰部会を翌日に控え福永部長を始め米子クラブの皆様にご心から感謝申し上げます。

翌日の瀬戸山陰部会には、進藤、鵜丹谷、長内、井出夫妻の5名が最後まで参加され残りの6名は午前の分科会のみ参加して先に失礼しました。

私は久しぶりで旧西部の広島、岡山、姫路、鳥取各クラブの古い友人知人皆様にお会いして旧交を深める事が出来ました。







# Kobe Menettes

Declared March 10·1965

## 東洋医学と西洋医学

井出 富光子

2012年8月11日(土)の夜、何気なく頭をさわると、痛みがある。右後頭部の下あたり、チカチカするような、まるでたんこぶを作った時のような痛みである。頭をさぐって見ると、右半分だけ所々痛い。頭痛というのではなく、触って痛いという感じである。さっきお風呂で洗髪した時はなんでもなかった。今、湧いて出た突然の痛みである。

翌日になっても良くなる。ネットで「後頭部 表面 痛み」と入れて検索する。すぐに「後頭部神経痛」と出た。読んでみると、まさに「たんこぶ」のような痛み、とあり、他の症状も一致している。脳腫瘍などの危険性の高い病気ではないとの事。記事を色々読んでいくと中に「鍼灸の治療で完治」とあった。それならばいつも行っている私の鍼の先生の所へ行けば良い。なるべく注射ごとはさげたい。早速、三日連続の予約をとった。痛みは表面だけでなく、所々脈打つ様な感じで襲ってくるようになった。

私の鍼の先生(東洋医学なので仮に東先生とする)は、全身の血液の流れをよくする経絡の治療が専門である。血行を良くし、鍼、温灸、マッサージなど行う。以前、軽い突発性難聴になった時治療していただいてから、しんどい時や肩こりがひどい時に通っている。

東洋医学というのは劇的にすぐ効くわけではない。今回の治療では、こりはほぐれるが、血流が活発になるためか、頭の方はかっかとしてかえって痛みが増すばかり。でもこんなもんかな、気長に行こうと思っていたら、その次の日、頭部のあちこちが少し腫れてきた。夫が見て、これはヘルペスではないのかという。その腫れがどんどんひどくなり、枕に当たっても痛い。頭痛も増し不快で、夜、寝ることもできない。頭部に現れたヘルペスは脳炎になる可能性もある。色々考えると不安になってきた。東先生は「ヘルペスを自然に枯らして、ゆっくり免疫力をあげましょう。西洋医学の薬は使用しないように」とおっしゃるけど、このままほっといていいだろうか。頭部の腫れという吹き出物は相当悲惨な状態になっているらしい。自分で見

えないのが幸いである。

お盆の最中で近くの皮膚科の診療所がすべて休診中。不安に負け、決心して総合病院へ行った。西洋医学の先生(西先生とする)は開口一番「入院なさいますか?」とおっしゃった。思いがけない言葉に絶句する。「入院て、私、明日から旅行なんですけど・・・(実際翌日から二泊三日で旅行の予定であった)」

「旅行なんてとんでもありません。ヘルペスというのは免疫力が下がって体が弱っている状態なんです。このくらいの症状だと入院は普通です。特に主婦は家で何にもしないですることが難しいから、入院してゆっくり体を休めなければいけません。ひどい風邪をひいたと思って下さい」

とりあえず入院だけは勘弁していただき、次の日から予定通り旅行に行った。西先生に言われたように、なるべく疲れないようにゆっくり移動する。頭はチカチカムズムズし痛い痛い。千本の針で刺されている感じ。旅は楽しいが体はつらい。食欲もない。眠れない。たぶんこの時期が病気のピークだったのだろう。西先生の薬は朝昼晩ちゃんと飲んだ。

旅行から帰った翌日、東先生の治療を受けた。もちろん西先生の事は一言も言わない。「少し枯れてきましたね。いいですよ。ストレスをなくすようにして、気楽に過ごすのが一番ですよ。暖かいものを食べて飲んで、体を労ってください」し、しかしこの季節、ビールを飲まないわけには・・・。

それから二、三日して、西先生に診て頂いた。「随分よくなりましたね。あとは無理の無いようにして下さい。お薬はもう少し続けましょう」考えてみると、東先生も西先生もおっしゃっている事は同じである。

病気は一か月ほどかかって完治した。さっさと西先生に行けば良かったのか。東先生だけで良かったのか。何が効いたのか、効かなかったのか。ほっといたら良かったのか悪かったのか。どちらも無視する事のできない、右往左往ならぬ東往西往の夏であった。